

令和七年 2025

宵宮 10.11 [土] 夕刻-21:00頃

本祭 10.12 [日] 9:30-18:00頃

天孫神社例祭

# 大津祭

国指定重要無形民俗文化財



十三基の曳山と  
からくりの彩り

「からくり」は西王母山



有料観覧席販売  
インターネット販売 びわ湖大津観光協会  
発売日は大津祭曳山連盟又はびわ湖大津観光協会のホームページをご確認ください。



特定非営利活動法人 大津祭曳山連盟  
大津祭曳山巡行総合問合せ 077-525-0505 ※大津祭は滋賀県、大津市の補助金を受けています。

協賛：叶匠壽庵 森井眼科医院 滋賀銀行

## 大津祭見て歩きマップ



- 本祭午前巡行路
- 本祭午後巡行路
- 所望 (からくりを演じる) 場所
- 大津祭臨時案内所

巡行終了解散 17:30

宵宮飾り	11日 21:00まで	12日 15:00ごろまで
神楽山	11日 21:00まで	12日 17:00ごろまで
神布袋	11日 21:00まで	12日 17:00ごろまで
神輿	11日 21:00まで	12日 17:00ごろまで

至京阪三条

至京都

J R 大津駅

至草津

曳山イラスト：梅村 眞司

# 大津祭について

四百年の歴史と伝統を持つ大津祭は、湖国三大祭の一つで国指定重要無形民俗文化財に指定されています。曳山巡行は、豪華絢爛な13基の曳山が優雅なお囃子を奏でながら、からくり人形を操り、まちなかを巡行することで知られています。

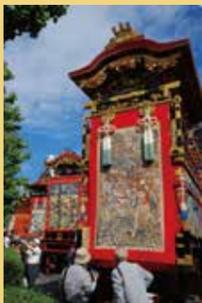
## 宵宮(よみや)



本祭の前日に行われ、午後一時頃から各山町で、宵宮曳きが行われた後、夕刻からは飾り付けられたちょうちんに灯が入り、曳山の上ではお囃子が奏でられます。町内では曳山に乗るからくり人形や懸装品が公開されます。街中は夜九時過ぎまで賑わいます。

## 本祭(ほんまつり)

天孫神社に集合した曳山は、9時半頃に西行桜狸山が先頭で巡行を開始。巡行の途中で所望(しょうもん)の箇所「からくり」を演じます。からくりは能楽や中国の故事などの物語の一部を見せると言う他にはない特徴があります。巡行中に曳山より撒かれる粽を受け取るのも楽しみの一つです。



## 大津祭を安全に楽しんでいただく為。

各曳山より粽が撒かれます。粽を求めて殺到されると、危険です。お子様やお年を召した方は、十分注意してお祭りをお楽しみください。



■人が集まっている所は避けましょう!

粽(ちまき)を求めて殺到されると、危険です。みんな曳山の上しか見ていません。足下にお年寄りやお子様がいることを忘れてください。曳山に車輪があることを忘れないで下さい。

## 曳山巡行本關順

不關取 西行桜狸山 鍛冶屋町

- 1 神功皇后山 狛師町
- 2 石橋山 湊町
- 3 龍門滝山 太間町
- 4 殺生石山 柳町
- 5 西王母山 丸屋町
- 6 郭巨山 後在家町・下小唐崎町
- 7 源氏山 中京町
- 8 狸々山 南保町
- 9 月宮殿山 上京町
- 10 西宮蛭子山 白玉町
- 11 孔明祈水山 中堀町
- 12 湯立山 玉屋町

謡曲の「石橋」に取材したもので、大江定基入道寂昭が宋の国に渡り、清涼山にある文珠菩薩の浄土に続く険しい石の橋を渡ろうとしたとき、文殊菩薩の使いである獅子が岩の中から現われて、牡丹の花に舞い戯れるのを見たというもの。所望は、岩が開き、僧寂昭の前に唐獅子が歩み出てきて牡丹の花に戯れ遊んだあと、岩の中に戻ってゆく。



石橋山 湊町

黄河の上流の龍門山の滝。魚は登ることができないが、もし登る魚があれば、昇天して龍になるという故事に因んでいる。登竜門という語はここから出たもの。所望は龍門の滝を鯉が躍り上がる所を見せる。鯉の滝登りは曳山のからくりとして他に例がなく、たいへん貴重なもの。見送りはベルギーのタペストリーで重要な文化財に指定されている。



龍門滝山 太間町

紫式部の「源氏物語」をテーマにしたもの。大津祭の曳山の中で、唯一大津に由来したカラクリを採り入れたものである。紫式部人形の十二単や曳山を飾る部品、欄干を見つと平安の昔を偲ばせる所づくりで、女性的なデザインである。曳山に乗る緑色の岩は石山寺の観月台を模し、所望は紫式部が月を見ながら構想を練る様子表現している。



源氏山 中京町

神功皇后が戦いに先立ち、鮎を釣り戦勝を占ったとされる伝説に因む。神功皇后は当時懐妊されていたが、戦いが終って後、応神天皇を無事出産されたことから「安産の山」として信仰がされている。所望は、皇后が岩に弓で字を書く所作をする時、岩に次々と文字が現われてくるからくりで、文字書きからくりとしては漸新な機構とされている。



神功皇后山 狛師町

謡曲の「喜多流月宮殿」から取材したもの。唐の皇帝が長生殿で新年を祝う節会を催され、世を弄がれたというもの。所望は、鶴と亀の冠をつけた男女の舞人が、皇帝の前で舞を舞う。そこから俗に鶴龜山とも呼ばれる。ベルギー製で重要な文化財の見送り幕を所有するが、現在は平成十一年十月に復元新調されたものを使用している。



月宮殿山 上京町

三輪明神を祀っていたことから、創建当初三輪山と称していたが、享保九年に改造され神楽山となった。安政六年を最後に巡行しなくなり、現在は三輪明神・市殿・禰宜・飛屋の四体の人形と、中国清代初期の官服を仕立てた見送幕、前懸幕の「瓶割図刺繍」、胴懸幕の「耕織図刺繍」が宵宮と本祭の両日、堅田町内に飾られる。



神楽山 堅田町

ねりものとは今という仮装行列で、江戸時代の天津祭には、多くの氏子町からねりものが出されていた。新町の布袋は、元禄六年の記録に登場することから、それ以前の創建であることがわかる。現在、宵宮と本祭に町内で飾られる布袋の人形は、文化七年に新調されたもの。全高二メートルを超え、かつては人が中に入って練り歩いた。



布袋ねりもの 新町

寛政九年の伊勢参宮名所図会に「御輿祓いの日に百石町より紙の御輿を出す」とある。この頃の御輿は、フスマのような紙貼りの御輿であった。弘化二年に神輿の新調があったという記録があり、現在の御輿の鳳凰や瓔珞は、この時のものである。昭和三十年代までは、天孫神社の神輿とともに渡っており、国指定を機に渡御が復活した。



神輿 下百石町



西行桜狸山 鍛冶屋町



狸々山 南保町



西王母山 丸屋町



西宮蛭子山 白玉町



殺生石山 柳町



湯立山 玉屋町



郭巨山 後在家町 下小唐崎町



孔明祈水山 中堀町

これまでの100年、これからの100年へ

**株式会社 中村組**

事業内容：プラント事業 / 土木事業 / 建築事業 / 物流事業  
解体 / 塗装・リフォーム / 業務請負 / 人材派遣業

〒520-2120 大津市瀬田大江町13-18 TEL 077-544-2160 FAX 077-544-2165

塗装・防水・足場・解体・リフォーム工事

**株式会社 村建**

〒520-0833 大津市晴嵐1丁目11-16  
TEL 077-544-2160 FAX 077-544-2165

滋賀県内塗装実績NO.1

**株式会社 コーティング企画**

個人宅のリフォーム・外構工事・太陽光発電から大規模な倉庫新設や工場塗装までお任せください。

〒520-3203 滋賀県湖南市日枝町101-37 TEL 0748-75-6888 FAX 0748-75-6886

笑顔になるみんながシゴト。

**株式会社 昭建**

豊かから社会を築くものづくり

“びわ湖”の代表的なエンターテインメントクルーズ船

**KEIHAN ミシガンクルーズ**

大津港 におの浜観光港 柳が崎湖畔公園港

伝説とパワースポットの島“竹生島”を訪ねる

**竹生島クルーズ**

今津港 長浜港

TEL.077-524-5000

50年、100年後も安心して住み続けられる住まい

**YELL CORPORATION**

新築 / 建替え / リフォーム

一級建築士事務所 エールコーポレーション株式会社  
草津市北大萱町 556 番地の 2 TEL/077-568-3190 FAX/077-568-3773

ボランティア受け入れ会場提供のご支援  
大津市立中央小学校 大津市中央市民センター 旧大津公会堂

天孫神社のお知らせはこちら  
http://www.tensonjinja.jp